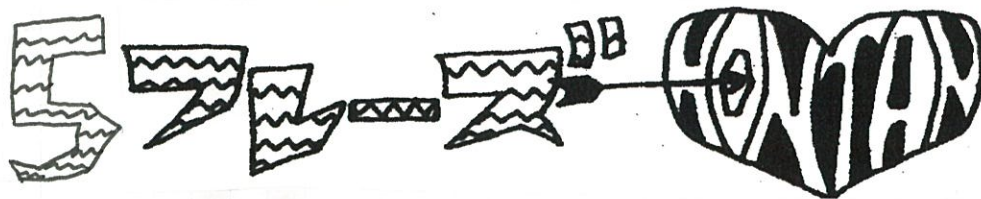


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします☺

第56号

5月号



今回のテーマは
クスッと笑える
一言です。

『私、気になります!』
ヒロインの千反田えるがよく使う
単純な一言ではあるけれども、
決め台詞として扱われる一言です。
何故クスッと笑えるのが……
私、気になります!

『お年寄りが粗食と
いうのは大ウソね』
彼らは料理が届くと待て
ましたと言わんばかりに箸を
握りしめる。

『物合いや、何でも
勝負事に勝った時、
どうしてうれしくない
ことがあるの。』
とても共感でき、つい微笑ん
でしまいます。

『氷菓』
米澤穂信
913.6/Y



『脱・限界集落
株式会社』
黒野伸一
913.6/K



『枕草子:
現代語訳』
清少納言/大庭
みな子
2F 文庫新書 914.3/O
岩波現代文庫



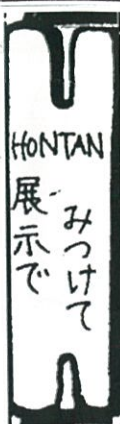
『ホームズ!ほんとうにきみ
なのかな?まさか生きているとは!
あの恐ろしい滝壺からいったい
どうやって這い上がったんだ?』
ワトソンがホームズに言った一言。

『俺の尻だ、俺の尻だ』と
吹き散らかす奴が』この
国にあるもんか』
主人公のユニークな悪口に
クスッときます。

『シャーロック・ホームズの
生還』
アーサー・コナン・ドイル
938/D-3
関傑(CS 015799)



『坊っちゃん』
夏目漱石
913.6/N
2F 文庫新書 岩波文庫



学生展示

皆さんこんにちは。新年度も早一ヶ月
経ち、もう五月ですね。新入生の皆さんは少
しずつ新生活に慣れてきましたか?五月の
別名といえは「鼻月」ですね。鼻月の由来は
旧暦五月が田植の季節であることとか
何とか。確かに、気温も上がり、北海道
も春本番といった感じですね。そこで今月
のテーマは「春の自然」。五月病なんかは
罹らないように、自然と触れ合い、気分
とリフレッシュしましょう!

<りゅう・笹那>

DVD展示

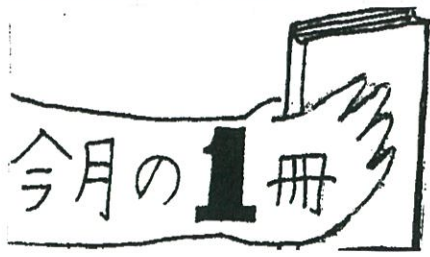
今月で五月ですね!皆さんは五月と聞
いて何を想像しますか? HONTANで
は、今回「旅」をテーマとしてDVDを選
択しました。あの某セリフで有名な「天
空の城ラピュタ」をはじめとするDVD
が沢山集まりました!ぜひ一度見て
みることをおすすめする作品ばかり
です。この機会に自分自身が旅した
気分になってどうぞ〜!!

<まっすー・nao>

帯展示

今回のテーマは「恋・
愛」です。新学期が始
まり学校の雰囲気にも
慣れてきたと思います!
新たな一歩として、恋を
してみませんか?夏に向
けてたくさん恋をして
みてください!

<りゅう>



『患者のエンドロール』 米澤穂信 9/13.6/Y

皆さん、こんにちは！ ますーです！ 五月の今月の一冊は、タイトルにもあるように「患者のエンドロール」という作品を紹介させていただきます。皆さんは「氷菓」という作品を読んだことがあるでしょうか？ この「患者のエンドロール」は「氷菓」に引き続き、「古典部シリーズ」の第二弾です。内容は以下のようになっています。

——無事に古典部に入部し、早速同僚の千反田えりが持ち込んだ謎を省エネ思考で解き明かした主人公ホータロー。次に挑むのは、文集「氷菓」作成中のある日にえりが先輩の制作したミステリー映画の試写会を見に行こうと皆を誘ったことが発端となっていました。二年生が作成した映画を完結させることでした。しかし、その映画は脚本家の体調不良で話が進まなくなりました。結果が描かれなまま尻切トボンボで終わる未完のものだった……。

というざっくりした内容説明です。推理のジャンルに分類される小説ではありませんけれども、他の推理小説或いはミステリー小説よりも比較的読みやすい内容です。ぜひ、この機会に推理小説の面白さに触れてみてください。あなたの知らない不思議なミステリーワールドがそこには必ず……！

<ますー>

『植物図鑑監』 有川浩 9/13.6/A



道端のフキノトウを見ると、春の訪れを感じます。私が紹介するのは新緑の季節にぴったりの、有川浩さんの『植物図鑑監』という本です。タイトルに「図鑑監」とありますが、れきとした小説です（笑）。この作品は季節ごとの植物をテーマとして物語が進む恋愛小説です。

有川浩さんといえば『図書館戦争』や『フリーター、家を買う。』などの映画化、ドラマ化された作品が有名ですね。しかし今回はあえて、それらに比べてマイナーな作品を選びました。読み始めると止まらなくなると、2日で読み終わってしまいます。読みやすいのでおすすめです。

冬の終わりに自分のマンションの前に行き倒れていた「イツキ」と同居生活をする事になった「さやか」。重度の植物オタクだったイツキは、季節が変わるたびに植物の名前や知識を教える。そして、食べらる植物は二人で「狩り」、食べる。

川端康成は「別れる男に、花の名を一つは教えておきなさい。花は毎年必ず咲きます」という言葉を遺したそうだ。二人の風変わりな“道草”同居生活の行方は……

<マガネ>

雪も解け、緑が徐々に増えてきて春を感じる気持ちがよい季節になりました。今回は緑をより身近に感じよう！…ということで「My LOFE」を紹介します。「My LOFE 3-4月号」では、「素材を生かした鬼束カアップの庭造り」について特集されています。素材にはさまざまな種類があり、その素材ならではの工夫ができます。

HONTAN 雑誌の書評を紹介する Pick up MAGAZINES 『My LOFE』 3-4月号

例えば木の板で花台を作りアンティーク風にペイントすると、シックな雰囲気を出すことができます。他にもタイルを使って庭を柔らかく落ち着いた雰囲気を作ると、庭を生かしたおしゃれな空間の作り方が沢山載っています。

花が好きなら、ガーデニングをしてみたい人はぜひ読んでみてください！ あなたの庭も美しく飾ってみてはいかがでしょうか？

<かなづち>



『のぼりの城』 7/78.72/N

キッチコペーは「豊臣軍にケンカを売った、でくのぼらがいた。」「この男の奇策、とんでもないっ！」。2012年に公開されたこの「のぼりの城」は、ストーリーやキャストなどで大きな話題を集めた。

天下統一目前の豊臣秀吉は唯一残された敵、北条勢の

一つである忍城の城主、成田長親はその人柄から農民たちに好かれ、のぼり様と呼ばれていた。忍城を攻めようとしていた石田三成の態度を見た長親は応戦することを決め、多勢に無勢で北攻めまでされた長親は奇策で敵だけではなく味方も驚かせた。

合戦シーンの最景は若小牧市でされたことを知っている人は少ないだろう。それを踏まえて観てみるとまた違った見方ができるだろう。

<鶏>